

生涯青春

初戦敗退 西左腕散る



第11回鉄鋼流通三団体合同野球大会の一回戦が10月3日、浦安清水球場で行われた。一昨年の準決勝で敗退した入船鋼材様との再戦となった。走者を出すも1点が遠い根津鋼材に対し、2回と5回に本塁打による得点、7回にも四球と適時打を許し、追加点を与え、圧倒的な打力を誇った入船鋼材様に惨敗した。

前島主将のインタビュでもあったように二枚の左腕を擁しながらも、入船鋼材様の打力の前に増漕が5回3失点、伊藤が2回を1失点といずれも課題の残る投球となった。打線は初回、リードオフマン林の安打と四球で好機を作るも5番伊藤が捕飛に倒れ、先制のチャンス逃した。3回にも安打と四球で2死ながら満塁のチャンスでも無得点と捉え切れなかった。

▲二番手の伊藤(八潮)

■試合結果

10月3日

入船鋼材 対 根津鋼材

	1	2	3	4	5	6	7	計
入船鋼材	0	2	0	0	1	0	1	4
根津鋼材	0	0	0	0	0	0	0	0



▶新人荒木も2番サードを堅実にこなした

初戦敗退と残念な結果になったものの、収穫もあった。新戦力となった荒木も内野手はほぼ未経験ながら堅実な守備を見せた。昨年敗退した試合で課題となった内野の守備も、監督の采配がズバリ当たり、無失策の試合となった。内容が良かった為に余計に悔やまれる敗戦となったが、来年以降の大会へ向け期待できる。前回の敗戦の課題を克服し、課題の打力を鍛えることができれば、王者に返り咲くことも遅くはないのではないだろうか。

新型コロナウィルス禍の開催となり、一昨年敗退している入船鋼材様が相手という事もあり、リベンジに燃えていましたが、完全な力負けでした。お互い練習ができないという状況でしたが、入船鋼材様に完全に打ち負けた印象でした。来年の大会向け課題が浮き彫りになりましたので、次回大会で必ずリベンジしたいと思えます。今年も応援有難うございました。来年も頑張ります。(伊藤)